

Kurzdokumentation

COLOR MIXTURE WHEEL

Color Master 2006

by Japan Color Enterprise Co., LTD

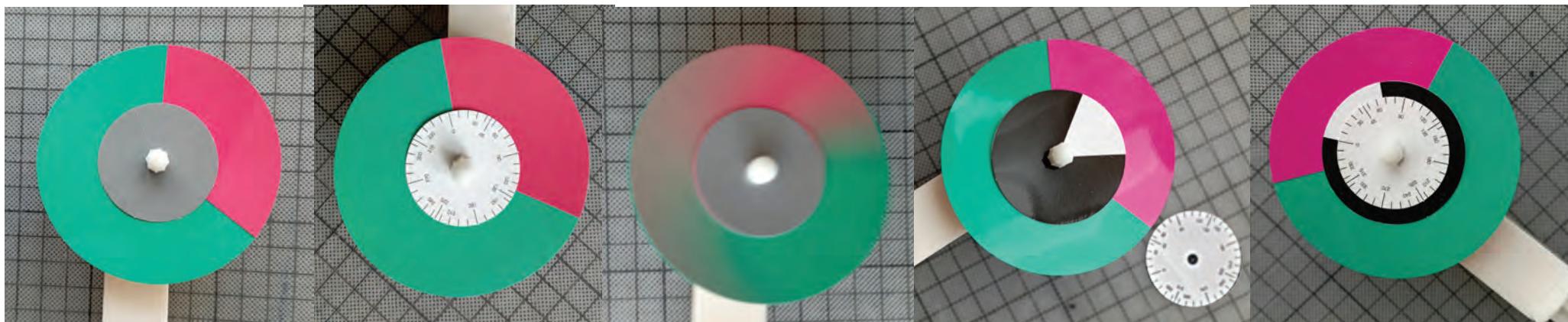
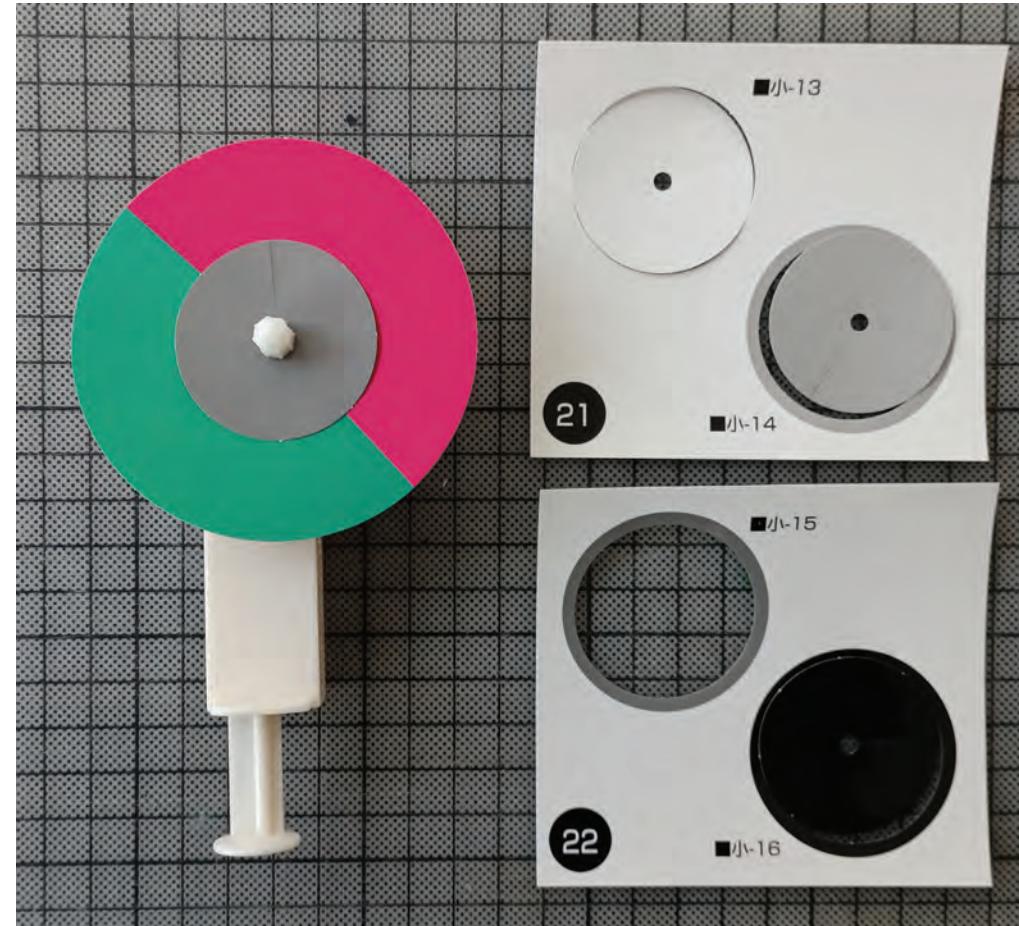
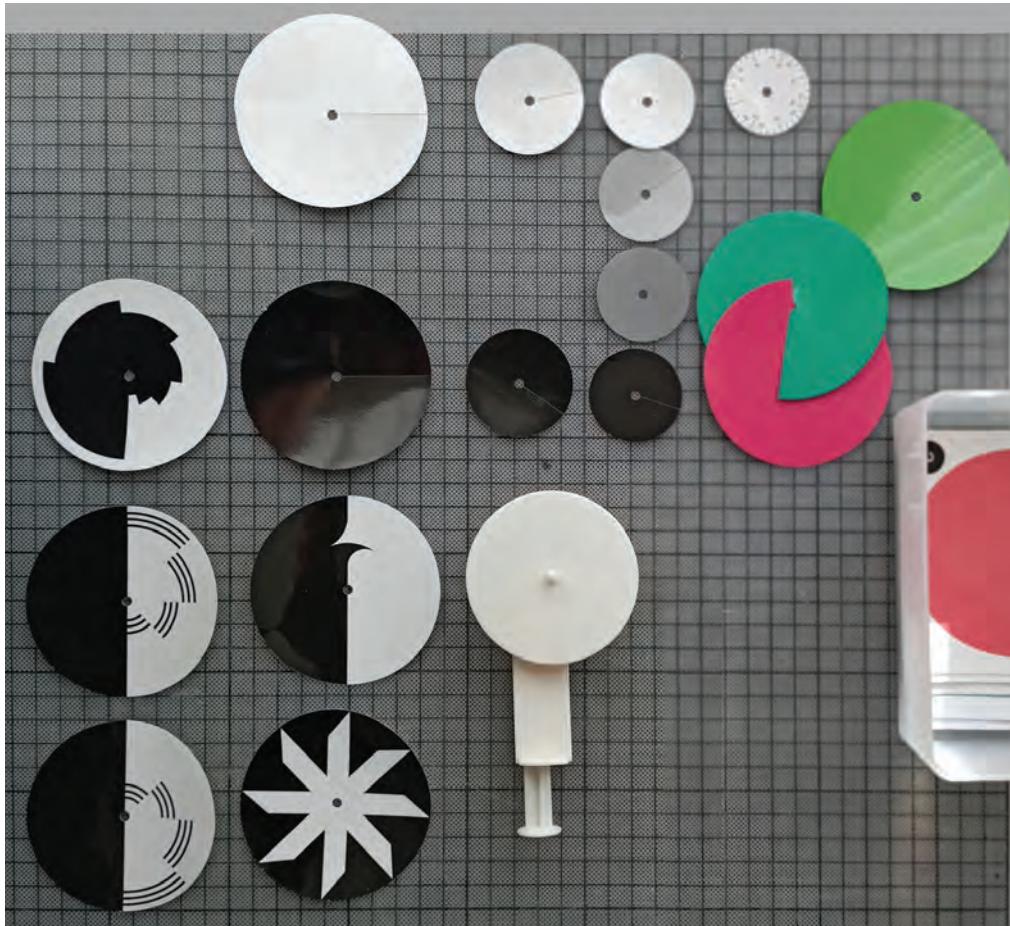
www.sikiken.co.jp

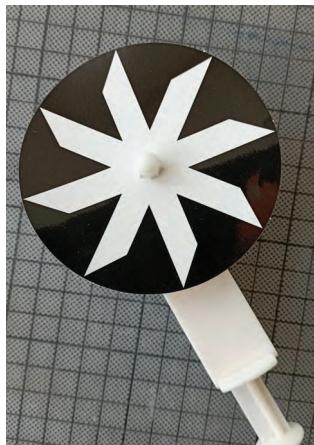


回転混色器

Inhalt:

- 1 Kreisel-Gerät (Dynamobil)
- 12 geschlitzte Kreiselscheiben, (Farbtöne 1-12), + je eine Scheibe Weiß und Schwarz
- 5 historische Scheiben, groß (Mach, Fechner, Benham)
- 12 kleine Kreiselscheiben, (Farbtöne 1-12) + je eine Scheibe Weiß und Schwarz
- 4 kleinere Scheiben: Schwarz, Weiß und 2 x Grau
- 1 Mess-Scheibe mit Skala
- 1 Heft zur Anleitung





Kreisel nach Ernst Mach

Kreisel nach G.T. Fechner



ます。
2-4(R)と2-13(white)と2-16(black)の小円板を大円板の上にセットします。大円板と小円板の混色結果が等しく見えるように小円板の面積比を調整します。
「赤と緑の混色結果」と「黄と白・黒の混色結果」が等色することを確認してください。
同じように $[1-6(G)+1-10(B)=2-8(C)+2-13(white)+2-16(black)]$ と $[1-10(B)+1-2(R)=2-12(Y)+2-13(white)+2-16(black)]$ の等色を実験によって確認してください。

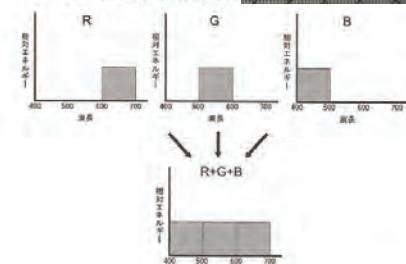


②「R+G+B」=「白+黒」

使用する円板：1-2、1-6、1-10の大円板
2-13、2-16の小円板

・1-2(R)、1-6(G)、1-10(B)の大円板をセットして回します。

色みを感じさせない無彩色になる。
・2-13(white)、2-16(black)の小円板を大円板の上にセットします。大円板と小円板の混色結果が等しく見えるように小円板の面積比を調整します。
光の三原色「RGB」を混ぜ合わせる時混色の一種である回転混色は、ありません。混色結果は中间のグレーになります。



RGBの回転混色を説明した分光分布の模式図

2. 円板の種類

この混色器には、実習用の円板がついています。円板の種類は以下の通りです。

■角度表示円板(1枚)

■単色円板(表中の番号は、円板裏面に記載されている番号です。)

色	サイズ			色	サイズ		
	大	中	小		大	中	小
red 赤	1-1	2-1	blue 青	1-9	2-9		
yellowish red 黄みの赤(R)	1-2	2-2	purple blue 紫みの青(B)	1-10	2-10		
orange オレンジ	1-3	2-3	purple 紫	1-11	2-11		
yellow 黄(Y)	1-4	2-4	red purple 赤紫(M)	1-12	2-12		
yellow green 黄緑	1-5	2-5	white 白	1-13	3-1	2-13	
yellowish green 黄みの緑(G)	1-6	2-6	light gray 明るい灰色			2-14	
	2-7	gray 灰色				2-15	
	2-8	black 黒		1-14	3-2	2-16	

ビー) : 色光の三原色に相当する色
・イ(イエロー) : 色料の三原色に相当する色
中・直径46mm、小・直径40mm

2

■バターン円板 (サイズ：直径80mm)

名 称	No.
明度段階	4-1
クレイク-オブライエン効果	4-2
マッハバンド	4-3
ベンハムトップA	4-4
ベンハムトップB	4-5



クレイク-オブライエン効果

3

Kreisel nach Charles E. Benham



14

15